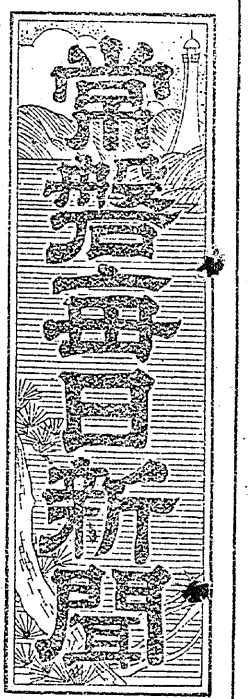


刊夕五日十月二十



定額一紙五錢... 行金五拾錢... 電話六三〇〇... 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式會社

創造的音樂教育

磐城中等學校 根本 邦雄

併し廣い意味に於ける音樂藝術が如何に大なる教育的價值を有つてゐるものであるか、換言すれば此完全なる教育には音樂が如何に廣大なる貢獻をなす可きものであり又なし得べきものであるかを明かに悟つてゐる人は極めて少數である。

音樂には音樂としての獨得の力が存在してゐる、此の力なるものは他の如何なる藝術も如何なる研究も望み得る事の出來ぬものである、又實際にこの力なるものは極めて根本的な本源的な力であるから、凡そ生きたとして生ける物で之に動かされぬものは無い、他の藝術は知覺出來ぬ程の幼弱な小供ですら音樂だけに極めて強く感動されるのである。

聲音を伴はず音樂の協力を全然奪はれた場合には舞踊も劇も活動寫眞の映畫も其の感動は大半減殺されて了ふと云ふは此の根本の力を持たぬからである宗教が音樂の援助を受け音樂が正しく文を助けた時最も強く人心を統率し得た事は古今東西を通じて皆其の機を一つにしたのである。

斯の如く極めて根本的な本源的なものであると同時に又あらゆる、藝術中最も先驗的超越的のものである其の性質として抽象的のものである故此の性質によつて精神と感情とを醇化し向上して一層高い思想と情緒の世界に誘導する其の力たるや根ざしが極めて深く且非常に強い其の歴史は津々に興味を堪へ其分野は極めて廣い、其據つて立つ物は多岐多様を極め人類の發達と鴻業との他の多くの方面と複雑に交流し錯綜してゐることは到底他の藝術の比ではないのであるから個人の完全なる發達にも又社會の理想的發展にも音樂の研究程豊かな多くの可能性を藏してゐるものは無いと云へる。

綴り方

大内先生

第一小學校 尋五 河野和平

僕は大内先生に三年間教へられた四年になる時だつた「大内先生が第三の先生になる」といふうはさがあつた、僕はどうしてもそれが本當だとは信じられなかつた、それはどうしてかといふと、三年の二學期だつた先生に「先生、僕のこと六年まで教へますか」と聞いたから、先生はニコ／＼しながら「あ、おしへるよ」と言つたからだ。それでもみんなは「大内先生は第三の先生になる」といふ。そのうち修業式が終へた。明日から四年生だ」と大喜びであつた。

四月一日、皆は元氣よく學校へ始つた、すると「みんな小使室の前へ集れ」と先生がいれた。大内先生の姿はみえない、そしてちがふ先生が来ておられた、そして組と受持の先生の名を呼んだ時、四年の四組は水竹先生とおつしやつた。僕はその時「やつぱり

そうだつたか」と皆のいふことが本當だとわかつた。その時水竹先生といはれた時、その先生の顔を見た、ニコ／＼して、しかもかつばつさうだ。僕は一目で水竹先生が好きになつた、それから一年たつた五年になつた、姉ちゃんも「あの大内先生は女學校の書記になつた」といはれた、僕は時々お會ひするが、どうしてゐるかわからなかつた。姉ちゃんに言はれて始めて安心した、大内先生は元氣のある面白い先生で、僕はとても好きだ、今でも先生のごことが思ひ出される。

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院

器灸溫ムウチラ

特卸治 福島縣平町五ノ廿八 約代理 福島縣平町白銀町九 販理療 産婆 關口 悦子 賣部部 金拾參圓 藥及特効五週間分付 金拾圓 藥上製桐箱入一揃 (説明書呈)

齒科醫開業廣告

平町 鍛冶町 吉田屋吳服西隣り

中村齒科醫院

東京齒科醫學士中村文一 十二月十五日より口腔外科齒科一般の治療に従事致します

ハシモトヤのサービスデー

十二月十三日ヨリ 十二月十七日マデ 五日間 午前九時ヨリ午後三時マデ

毛糸編物講習會

會場ハシモトヤ糸店階上

講習料無料

かぎ編、棒編、文化器編、どんな編物でも自由に御教へ致します。参考品澤山會場へ陳列致します。どうぞ遠慮なく御出下さい。

耳鼻咽喉科専門

平町南町一

増田醫院

電話四八二番

回冬衣暴落品新荷着

嶄新な柄大衆的なお値段 着尺モスと本場銘仙 御婚禮衣裳七五三御祝着

新柄豊富に取揃へました 新型シヨール入荷

三井吳服店

電話三八四番

本年冬に入つて 最低のレコード

一兩日天氣はい、が 相當寒さが續く……

異常に暖かつた天候は十三日から氣温俄かに低下し十二月には珍らしい寒氣が襲來した小名濱測候所の發表に依ると

十四日朝の氣温は零點下四度八で平年より三度低く本年冬に入つて最低レコードである尙ほこゝに一兩日天候はい、方だが相當寒さが續くとの事である

報勞金授與

川前消防組に

石城郡川前村消防組では十月十四日午前一時半大雨の爲め土砂崩壊して磐越東線川前夏井間の鐵道が十時間以上不通となつた際復舊工事に消防組員九十二名が出勤して盡力したので昨十四日伊庭仙臺鐵道局長より報勞金と感謝狀を授與された

磐中で木工作業

磐城中學校では作業科を新設園藝方面の作業課して來たが成績良好のため來年度

果物の 甘酢を製造

農試分場の試験好績

石城農試分場では果樹園藝を主とするところから本年最初の試みとして果物の廢物を利用して甘酢トマトピツ(クルトマト酢漬)の製造に立派な成績を収めたので今後この方面の利用加工法を充分に研究し一般家庭で出来ることを考へてゐる

トンネル

切開終る

明十六日に

鐵道の道樂息子で一番金を食ひ、煙を吐くので有名な

植田品評會

褒賞授與式

既報石城郡植田町農會主催同町外山田、錦聯合農産物品評會は十四日植田町菊多専修學校に開催出品數八百

十品の多數に及び午後一時より左記の優良者に賞品を授與された

- △倭米一等 高木清 楠
- 田子之吉 下山田金太郎 (植田)
- △大豆 助川熊太郎 吉田 一太郎(錦)外二等二十八名 三等七十九名 四等二百三名
- △大根一等 赤津長次郎 小宅兼吉(錦)瀬谷英治

蒟蒻一駄の値段 米八駄と釣合ふ

意外の騰貴に大活況

石城郡の山間部落貝泊、石積、田人の各村唯一の生産品たる蒟蒻は例年よりも良質で且つ豊富に出たが數日前より政界の變動で諸物價の騰貴につれ東京相場の蒟蒻は一駄四十五貫のものが

新川堤防の築造

一月十日頃着工

縣補助の交附指令に接す 冬期間の失業救濟事業に

平町外二ヶ支聯合新川水害豫防組合における新川堤防築造繼續事業六年度工費七千三百圓に對する縣補助は十四日三千五百九十圓交付の指令に接したので組合では直に潰地買収に着工した

神谷倭米品評

石城郡神谷村農會では十八日午前八時より同村字鎌田の農業倉庫に於いて倭米品評會を開催審査員は郡農會青出

平町人事

結婚

△田町五五 高橋一郎氏 (三六)愛知縣温泉郡三津濱町宇古三津小早川カネ (三〇)

△石城郡大浦村宇長友東條平八郎氏(二五)鎌田町卅一佐藤ヨシ子(二二) 回 死 亡 △材木町四〇 小菅廉平 (三二)

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

火災防火の一大革命 國民財産保全の一大福音 セロン防火劑現ける

東北セロン商會 店主 櫻井清

七五三お祝履 大賣出し 新妻はきもの店 平田町(元店)の向ひ 電話 五七四番

科病柳花科兒小科内 院醫沼藤 應需院入

風味獨得な魚清のなべ類 例年の通り始めました

魚清食堂 平町三丁目電話六三三番

冬來る！ 火の氣のない 冷い教室

尋常一年生以外は 首を縮めて震えて居る

平地方は二三日來厳しい寒さが襲來して急に冬來るの觀が深い平各小學校も昨年還歴祝の人々から

寄贈されたストーブを取付けて真ッ赤な炎が教室内に暖氣を送る事になつた、夫れにしても右のストーブは尋常科一年生の教室のみであるから其他の生徒等は隙洩る

寒風に身を切られて

顫えながら首を縮めて居る曾我校長は「全校の生徒に温かさの恩恵を與へる事が出來ぬ迄もせめて尋常科二三年の教室にだけは暖房装置を施したいものと思ひますが經費の關係で夫れも出來ず、寒さに震えて居る

児童達を見ると全く

可哀想です」と語つて居る前の平小學校が火災に見舞れてから幾に懲りて胸を吹くの諺えに洩れず夫れ以來平町の小學校からは火氣と云ふものが全然取り除かれて仕舞つた、嚴寒が來ても教室の中に火鉢一つ持ち出されず児童達は片ッ端から風邪に冒される、是れを見て本紙は「子供達を寒さから救へ」と大いに世の注意を涵起する處があり昨年

世界館の 觀覽料寄附

滿洲兵士の慰問に

此の記事に依つて同情した還歴の人々が祝ひの記念として初めてストーブを寄贈した爲めやつと尋常科一年生の教室だけは温くなつたのである

過般來平料理屋組合平藝妓屋組合が在滿兵への慰問金を募集すべく特等觀覽料より慰問金を贈るべく運動中の處この程全收入百九十三圓二十錢を得其内諸費用を差引いた百十三圓二十錢の慰問金を本日兩組合代表者より町役場へ贈られた

日支事變を利用し 詐欺を働く不徳漢

一個五錢位のナフタリンを樟腦と稱して

押賣りする 平署が注意

日支事變や出征兵慰問等を利用して詐欺を働くものがあり警察當局においても警戒中の所最近平市内に廢兵と稱して各戸を訪問、殊に女ばかりの家と見るや一個五錢位のナフタリンを樟腦と稱し押賣し拒絶するや日支事變に言及して非難的口吻を洩らし強請する詐欺漢があるが被害者は少くない由で發見次第檢舉すべく手配してある若しこれ等の押賣が來た際は速刻平署に申告されたとのこと

私は本年五月の徴兵検査で甲種となつたので籤外で徴集を出願せんとしたが体重が不足で第一乙種となりかねて軍人ならうとの年來の念願がかなはず誠に残念でなりません、私の父は第一補充でした

風呂場の火が 着衣に燃え付く

幼女生不動となつて焼死

石城郡澤渡村字下市宣字竹ノ内一〇七荷馬車軌業佐藤信忠の三女タツヨ(三)は十三日午後四時頃兩親が馬車の手入に外出した留守中姉のミチヨ(二)が焚付け中の風呂場で暖をとつて居たが衣類に火が燃え移り全身火

に包まれて焼死した

萬引男捕る

大黒屋から 靴下十一足

石城郡川前村字上桶賣生れ窃盜前科二犯、宇佐美長命(三)は十四日午後三時頃平町三丁目洋品店大黒屋から靴下十一足を万引せるを發覺目下平署にて取調中であるが外にも万引の餘罪數件を自白したと

藝妓を誘拐

抱主から告訴

石城郡湯本町字三函山崎武來(三)は豫てより思ひをかけた居た近所の藝妓屋高萩サク方抱藝妓勝利事高田ヤス(三)を十二日より自宅に誘拐し他に賣飛さんとしたのを發覺し抱主より平署へ告訴された

自動車が大暴れ

店内に飛込

石城郡永戸村自動車營業草野長吉方、運轉手平山勝雄(三)が十三日午前三時頃平町からトラックに石炭を満載し福島市に向け運轉中安達郡二本松町國道急坂カーブで操縦をあまり同町盤

明日の天気

今夜は北西の風強く寒くなり、明日は北西の晴れ海上荒れま

今日の部

後六、〇〇(子供の時間) 兒童劇良寛と子供廣島師範學校附屬小學校内明星座同人
後六、三〇 英語講座「中等科」花園兼定
後七、三〇 講演「國際語」エスベラントの發生と其現狀「東北帝大理學部教授松岡健彦
後八、〇〇 獨唱とマンドリン獨奏 小島弘子外
後八、三〇 琵琶、紅葉狩安彦錦巴

明日の部

前九、〇〇 料理献立「煮物燗の五四羹」小野寺嘉祝
前一〇、三〇 婦人講座「凡ての母よ、手をとりませう」平田ぶの
物商大山峻方店頭に突入店頭を大破した

運轉手組合發會

既報平署管内に於ける自動車運轉手同志間の連絡を圖る爲め組合設立の計畫の爲めに寄々協議中の處本日午後七時より丸友ホールに於て石城自動車運轉手組合の發會式を舉行する事に決定したと

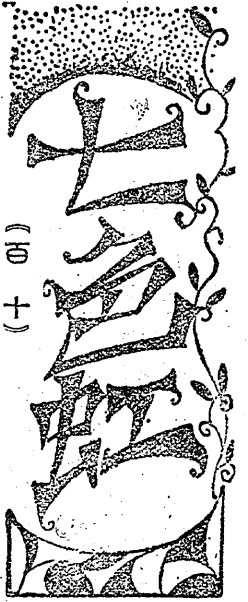
高岡氏の盛儀

石城郡草野村元代議士高岡唯一郎氏の葬儀は十四日午後一時自宅出棺三村光明寺で執行したが政友會福島支部より八田支部長、鈴木幹事長、木村石城郡會長其他の弔詞、犬養總理大臣外多數の來電あり會葬者四千餘名で地方稀に見る盛儀であつた

求職の部

△商店雜役 廿一才 高卒 給料面談 秋田縣人(平町某方)
△仕立屋職人 廿四才 高卒 給料面談(長橋町某)
△雜夫 四十三才 高卒 (湯本町上町某)
△商店雜夫 廿二才 尋卒 給料面談(平町某方)

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

我が子歸る (7)
『さア、直と入らつしやい
え、ようがす誰も来ちや
のませんから……若え衆い
くらだい、駄賃は……なに
壹圓だつて、……若旦那あ
んた持つてゐますかい』
幌のなかを差覗いて言ふと
『金なんか有るもんか』
『有るもんかは驚いたね。
若い衆このお客は空尻だ
とよ。交番へでも連れて出
るかエへ、』

清作は笑つて懐ろの墓口
から紙幣を出してやつた。
車から降りたのが家根屋の
借物らし双子の袷に同じ羽
織素足にべちやんこの麻裏
草履を突かけた源之助だつ
た。天窓と腕とに巻つけた
細帯が夜目に白く浮いて見
えた。
『どうです、歩けますか。
なに、杖を持つて来いッて
……アハ、相變らず暢氣
なことを言つたらア、私の
肩につかまんなさい、若い
衆、御苦勞』
清作は源之助を扶けて歩き
出した。源之助は清作に凭
れながら三層の白煉瓦を疊
んだ高い店の軒を見あげた
いつも煌々とした點燈裝飾
が空中に光りの虹を漂はし
てゐるのが、今宵はすつか

り消えて了つて黒い露臺の
上に大きな星が一つ瞬さし
てゐるのみであつた。ひた
と戸を閉切つた暗い入口の
ところろ本日臨時休業と書
いた札が淋しそうにぶらさ
がつゐるのも、心做しか一
層の物寂しさを思はせた。



『木村。店の方には誰もゐ
ないのかい』
源之助はとつぼりとつぼり
足を曳摺りながら低聲で訊
いた。
『居やあしません。晝のう
ちに二人ばかり出て来たが
直歸つてしまつたさうです
川島なんか今日ア顔も見

せません電話でいゝ加減な
大旦那の見舞を言つて来る
始末ですよ……』
『然うか。ふむ』
源之助は唇を咬んだ。冷酷
な人の心を呪ふ憤怒と搦み
合つた味氣ない悲しみとは
言ひやうのない一種異様な
暗く寂しい心もちに彼を惹
き入れたそれが通用門から
横手の技折戸をあけて八ッ
手だの矮鶏ひばだのを裁込
んである庭をぬけ與坐敷の
障子に明るく映してゐる灯
の光りを楓の若葉越しに見
出した時に、さながらさす
らひの人が國境ひの山から

我が故郷の涯もない青野の
原を眺めやつたやうな融々
とした懐かしさと歡びと、
恥と、怖れと、強い悔恨と
に變つて來てぶるゝと足
が顫えた。
『木村。千代さんが居るの
か。』
飛石の上に立停つてひり

ついたやうな小さな聲で言
つた。
『え、居りますとも。』
『外に誰か居やあしない
か。』
『今日來た看護婦だけです
よ』
『然うか』
五六歩足を動かすと又佇ん
で
『大丈夫か。おい』
『何が……愚圖くしね
えでズンズンとお歩きなせ
えよ』
『でも體面が悪いなア。ほ
んとに大丈夫か、おい、あ
あ、然うはやく引張つて呉
れるなよ。手が痛いんだか
ら。』
『困つた方ぢやなア。今に
なつてなにか體面が悪いん
ですか。しつかりなさいま
せ。うんと足に力を入れて
一つ大いに歩るいて下さ
い』
俄に臆病になつた彼はちや
うと白洲に曳出される時の
罪人のやうに懸念らしく眼
を睨つて坐敷の灯かげを見
やりながら庭先で押しつ押
されつ競合つてゐた。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
淋病 腸胃病 腸性病
門專 十二指 腸虫病
院醫科 院醫科
〇七一話電 町南平

新案特許 第一三五五號
小鍛式極東ムシカマド
◎本品にニセ物有小鍛式に御注意
製 造 販 賣 元
小 鍛 治 商 店
三 平 電 三 番

冬服 衾 衾
紺色柄物……三ッ揃……拾貳圓
最新柄……三ッ揃……拾三圓五十錢
スコッチ……三ッ揃……拾六圓五十錢
最上紺黒……三ッ揃……拾九圓
高級品……三ッ揃……拾九圓
ウリスケット
平町正札堂洋服店 電四三六

平町通電話六五五番
玉屋洋品店
平町通電話六五五番

一册の代金で
御希望通りな
五册の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

七五三のお祝
可愛らしきお子さん。洋服。オバー。ト。帽子。シヨール等々
平 四 ツ ヤ ル 電 一 〇